



Brush Up Time

はじめに

みなさんは、朝の10分間の勉強を一年間続けてきました。一週間では50分。一ヶ月では約三時間半という時間です。たった10分の時間と感じるかもしれませんが、積み重ねていくことで着実に力をつけることができる時間です。2年生では、BRUSH UP TIMEの「忘れかけている知識を復習する時間」ということに加えて、「学びの地図」「自己評価」「この2週間を振り返って」のページをさらに上手に活用し、自分だけの10分間を作り上げてください。

「学びの地図」について

みなさんが今までに身に付けてきた力と、1学期に学ぶ内容、そしてその内容のために必要な知識が示されています。「学びの地図」がある科目については、授業の進度に合わせ、必要に応じて予習・復習に活用してください。

「自己評価」

必ず「確認テスト」の答え合わせをし、その日の学習を振り返ることで次につなげましょう。自己評価の観点とは、1.自分の出来具合を見ること、2.1の出来具合からテストに向けて学習全体を振り返ることの2つです。なお、A～Dの評価は次の内容を踏まえて行ってください。

A：自分の力で解いた

B：自分の力で解いたが少し間違えた

C：予習のページを見ながら解いた

D：答えを写した

「読書」のページについて

本を読むことは、人と対話することです。読書は、抱えている悩みや、生きていく上でぶつかる数々の疑問や問題に対して何かしらのヒントを与えてくれることがあります。本を読むことが苦手な人も、朝の10分を活用して新しい出会いを体験してみてください。読書に関しては今までと同じく、日々の記録・読書カードへとつなげていきましょう。

「この2週間を振り返って」～振り返りのページ～

日々の学習内容の記録をつけることで自分の取組を視覚化し、見直すことができます。2週間単位で自分の学習に対する取組の様子を点検し、自分の成長の様子を確認しましょう。

【2年1学期BUT目次】

学びの地図

- ・現代文B
- ・古典A
- ・国語表現 古典B
- ・地理 歴史 公民
- ・数学A
- ・物理基礎
- ・化学基礎
- ・生物基礎
- ・保健
- ・コミュニケーション英語

○国語

現代文B

- 第1回 随想一
- 第2回 評論
- 第3回 小論

古典A

- 第1回 動詞の活用
- 第2回 古文に親しむ

国語表現

- 第1回 仮名遣いの決まり
- 第2回 整った文を書く

古典B

- 第1回 月の異名・方位と時刻
- 第2回 旧国名を覚えよう

○地歴公民

- 第1回 歴史区分と同時期の出来事
- 第2回 政治・経済・時事問題

○数学

- 第1回 多項式
- 第2回 展開の公式
- 第3回 因数分解1

- 第4回 因数分解2
- 第5回 1次方程式I
- 第6回 1次方程式II

○理科

物理基礎

- 第1回 速さ

化学基礎

- 第1回 元素記号

生物基礎

- 第1回 生物の特徴1
- 第2回 生物の特徴2

○保健体育

保健

- 第1回 妊娠・出産と健康
- 第2回 交通事故の現状と要因

○英語

コミュニケーション英語

- 第1回 疑問詞・ifで始まる節
- 第2回 比較級・最上級
- 第3回 受動態
- 第4回 接続詞

○商業

- 第1回 記憶容量
- 第2回 ビジネス文書用語

◎読書

- ・学校司書が選んだ高校生に薦めたい図書
- ・日々の記録
- ・読書カード

BUT学びの地図(学びの目次)

教科名

国語

科目名

現代文B

2.中学校学習指導要領上の既習内容

中学校3年生までに学習する漢字

文法 文の成分(接続語)

3.BUT演習の内容

筆者(吉野弘)について

1学期学習内容の漢字

擬声語・擬態語

接続語

※ 1.の内容を支えるための、
2.の最もファンダメンタルなもの

1.第1学期の学習内容

随想「蜜柑の受難」
場面の状況を捉え、それぞれの人物の動きをもとに、人間の優しさについて考える。

評論「コンコルドの誤り」
接続の表現について理解し、適切に使うことができる。

小説「水かまきり」
小説における擬声語などの表現方法について理解を深める。

BUT学びの地図(学びの目次)

教科名

国語

科目名

古典A

2.中学校学習指導要領上の既習内容

歴史的背景などに注意して古典を読み、その世界に親しむ。

3.BUT演習の内容

古典的仮名遣い

動詞の活用

※ 1.の内容を支えるための、
2.の最もファンダメンタルなもの

1.第1学期の学習内容

古文・歌物語「初冠」和歌の音声を音読し味わう。物語への影響の大きさを感ずる。

古文・歌物語「姥捨山」動詞を識別し、辞書で実際に引いてみることで、自ら学ぶ意欲を養う。動詞の主語を識別し、物語の解釈に役立てる。

BU T 国語(現代文B)第一回

随想一 蜜柑の受難(予習)

○筆者(吉野弘)について

吉野弘 詩人(一九二六年～二〇一四年)山形県の生まれ

詩の世界に入ったのは終戦直後の混乱の中で、軍国少年として育ちました。兵士となり、国のために戦って死ぬことは当たり前だと考えていました。ところが、吉野さんが陸軍に入隊する五日前、戦争は終わり、今まで信じて疑わなかった価値観を根底から覆されてしまいます。その際、絶対的な価値観などないと気付かされます。

一度は死んだはずの命を、人のために役立てたいと考え、終戦の二年後、二十一歳の吉野さんは詩人になることを決意しました。

次に挙げるのは、代表作「祝婚歌」(結婚する二人に贈る歌)からの抜粋です。吉野さんの人に対する優しく深いまなざしを感じ取りましょう。また、興味がある人は吉野さんの詩集を是非手にしてみてください。

・・・

互いに非難することがあっても

非難できる資格が自分にあつたかどうか

あとで疑わしくなるほうがいい

正しいことを言つときは

少しひかえめにするほうがいい

正しいことを言つときは

相手を傷つけやすいものと

気づいているほうがいい

立派でありたいとか

正しくありたいとかいう

無理な緊張には色目を使わず

ゆつたりゆたかに

光を浴びているほうがいい

・・・

次の傍線部の漢字の読みを答えなさい。

① 歳末セーブルが始まる。()

② 夏に長期休暇をとる。()

③ 扉の隙間から視く。()

④ 醜態をさらす。()

⑤ 悠然とふるまう。()

⑥ ドア付近から離れる。()

⑦ 黒いコートを着た紳士。()

⑧ 相手の態度に恐縮する。()

⑨ 対戦相手に敬意を払う。()

答え ① さいまつ ② きゅうか ③ すきま

④ しゅうたい ⑤ ゆうぜん ⑥ ふきん

⑦ しんし ⑧ きょうしゆく ⑨ けいけい

吉野弘「祝婚歌」より

一 吉野弘について次の問いに答えなさい。

① 職業を答えなさい。

② 何県の生まれですか。

③ 生まれた元号を答えなさい。

④ 戦争が終わったのは、陸軍に入隊前ですか、入隊後ですか。

二 次の傍線部のカタカナを漢字に直しなさい。

① サイマツセールが始まる。

② 夏に長期キユウカをとる。

③ 扉のスキマから覗く。

④ シユウタイをさらす。

⑤ ユウゼンとふるまう。

⑥ ドアフキンから離れる。

⑦ 黒いコートを着たシンシ。

⑧ 相手の態度にキョウシユクする。

⑨ 対戦相手にケイイを払う。

二

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ⑨ | ⑧ | ⑦ | ⑥ | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| | | | | | | | | |

| | | | | |
|----------------|----|---|----|---|
| 自己評価 | A | B | C | D |
| 復習の必要性(試験に向けて) | なし | | あり | |

この2週間を振り返って

| 日・曜日 | BUT 学習教科 | BUT 学習内容 | 自己評価 |
|------|----------|----------|---------|
| 日(月) | | | A・B・C・D |
| 日(火) | | | A・B・C・D |
| 日(水) | | | A・B・C・D |
| 日(木) | | | A・B・C・D |
| 日(金) | | | A・B・C・D |
| 日(月) | | | A・B・C・D |
| 日(火) | | | A・B・C・D |
| 日(水) | | | A・B・C・D |
| 日(木) | | | A・B・C・D |
| 日(金) | | | A・B・C・D |

| 家庭学習時間（合計 時間） | | | | | | | | | | |
|---------------|----|----|----|----|----|----|-----|-------|----|----|
| 国語 | 地歴 | 公民 | 数学 | 理科 | 保体 | 芸術 | 外国語 | 家庭・福祉 | 商業 | 情報 |
| | | | | | | | | | | |

<感想や目標など>

注意：〇〇〇がわかった、△△△を来週の目標とする等、具体的に記入すること。ただし、箇条書きは不可とする。

| | |
|----------|---|
| 担任・副担任所見 | 印 |
|----------|---|